

第5章 空 港



広島空港の就航路線

1 広島空港の概要

(1) 広島空港の現状

広島空港は、3,000mの滑走路、9つのスポットを有するエプロンや最新鋭の設備とともに、31,000 m²の旅客ターミナルビル、3,900 m²の貨物ターミナル施設などを備えた中国・四国地方最大の空港である。

また、平成29年10月29日から、空港の運用時間が夜間1時間延長され、15時間（7：30～22：30）となっている。

令和7年度の旅客数は、国内定期路線は、コロナ前の令和元年度比で99.3%となった。また、国際定期路線は、令和2年3月下旬以降、全路線運休となっていたが、令和4年度に台湾線が復便、令和5年度に大連・北京線及び上海線が復便並びにソウル線が就航、令和6年度に香港線が復便及びハノイ線が就航、令和7年度は清州線が新規就航し、コロナ前の令和元年度比で157.6%となった。

令和3年7月から広島空港の運営を開始した広島国際空港（株）（以下「H I A P」）等と連携し、中国・四国地方の拠点空港として、また、本県の新たな経済成長を支えるグローバルゲートウェイとして、引き続き利便性の向上や利用促進を図る。

広島空港の概要

設 置 管 理 者		国土交通大臣	
飛 行 場 の 種 類		空港法第4条第1項第5号に掲げる空港	
供 用 開 始 日		平成5年10月29日（3,000m滑走路供用：平成13年1月25日）	
施 設 概 要	告 示 年 月 日	平成12年12月28日（運輸省告示414号）	
	管 理 面 積	1,948,484 m ²	
	基 本 施 設 （ターミナル拡張計画を含む。）	着 陸 帯	長 さ 3,120m×幅 300m
		滑 走 路	長 さ 3,000m×幅 60m
		誘 導 路	総延長 3,290m
		エ プ ロ ン	120,300 m ² （サブターミナルを含む。）
	航 空 灯 火	進入灯、進入角指示灯、中心線灯、滑走路灯、誘導路灯、エプロン照明灯等	
	通 信 施 設	遠隔空港対空通信施設、飛行場情報放送業務施設	
要	航空保安無線施設	I L S（計器着陸装置）、A S R（空港監視レーダー）、 S S R（二次監視レーダー）、 V O R／D M E（超短波全方向無線標識装置／距離測定装置）	
	気 象 観 測 施 設	滑走路視距離測定器、風向風速観測装置、雲高測定器等	
運 用 時 間		15 時間（利用時間：7 時 30 分から 22 時 30 分まで）	

(2) 主な施設整備等の状況（国土交通省事業）

時 期	内 容	目 的
平成 20 年 6 月	計器着陸施設の高度化（CAT-Ⅲa）	視界不良による欠航、ダイバート（目的外空港への着陸）、遅延等の改善
平成 21 年 7 月	計器着陸施設の高度化（CAT-Ⅲb）	
令和 3 年 4 月以降	滑走路端安全区域（RESA）の整備	航空機がオーバーラン及びアンダーシュートした場合に航空機の損傷を軽減

(3) アクセスの充実

広島空港へのアクセスとしては、広島（広島駅新幹線口・広島バスセンター）、呉、三原、福山、西条からの空港アクセスバス、ＪＲ白市駅からの空港連絡バス、竹原、忠海、尾道、宮島口、五日市駅北口、福山駅からの乗合タクシーの計 13 路線が運行されている（令和 8 年 4 月 1 日現在）。

空港アクセスバス等の利便性向上については、平成 28 年 1 月に、ＪＲ白市駅のバリアフリー化（跨線橋の架替、エレベーター設置等）、平成 29 年度には、ＪＲ白市駅・広島空港間の主要地方道（東広島本郷忠海線）に凍結防止剤散布装置等を設置し、ＪＲ白市駅からの空港連絡バスの定時性向上につなげた。

さらに、令和 2 年 1 月に、広島空港及び広島県内計 8 か所（広島空港（国内線・国際線）、広島バスセンター（2 番ホーム、券売機待合）、広島駅新幹線口、中筋駅バス停、福山駅、白市駅）に、空港アクセスバス等の発車時刻や運行状況等を表示するデジタルサイネージを設置した。

今後は、広域的かつ利便性の高い空港アクセスネットワークの構築に向けて、「広島空港アクセス対策アクションプログラム」に基づき、関係機関との連携・協力の下、トリプルウェイの早期完成やアクセス向上に資する道路の整備、広島空港とダイレクトアクセス可能な拠点の拡充、多様なニーズに対応できる交通モードの確保等の各種取組を推進する。

また、ＨＩＡＰにおいては、駐車場機能及びレンタカー機能の強化のため、令和 5 年 4 月にターミナル前に新たな立体駐車場を整備し駐車場予約サービスの運用を開始するとともに、令和 6 年 7 月に、ワンストップでのサービス提供が可能な中四国最大級のレンタカー統合施設「RENT-A-Car. Port のりんちやい」を開設した。

(4) 航空ネットワークの維持・拡充

ＨＩＡＰや官民で構成される広島空港振興協議会等と連携し、既存路線の早期復便や増便に取り組む。

(5) 空港の振興

官民一体となって空港の振興策を推進するため、平成 6 年 3 月に設立した広島空港振興協議会（会長：広島県商工会議所連合会会頭、構成員：県、広島市、ＨＩＡＰ、経済団体等）において、就航路線の利用促進などの需要の拡大を図る。

(6) 空港経営改革の導入

広島空港が、本県の経済成長を促す役割を担うとともに、中四国地方の拠点空港として今後も継続的に発展していくため、県は平成 29 年 3 月に「広島空港の経営改革に係る県の基本方針」を策定し、広島空港の空港経営改革を推進することとした。

国は、平成 31 年 3 月から導入・空港運営権者の選定手続を本格的に開始し、令和 3 年 7 月に空港運営権者として選定された H I A P による空港運営が開始された。

県の基本方針も反映された H I A P の提案「将来ビジョン」を共有し、その実現に向けて連携して取り組むために、H I A P と県は 30 年間にわたるパートナーシップ協定を締結した。

(7) 令和 8 年度事業の内容

(単位：千円)

区 分	予 算 額	事 業 内 容
直轄空港建設費等負担金	843,319	広島空港の施設整備等に係る直轄負担金
空港関連施設等管理費	101,823	広島空港周辺県有地の管理等
空港周辺対策事業	35,315	広島空港周辺の環境対策等
空港振興事業	159,809	空港運営権者等と連携した、航空ネットワークの拡充及び空港アクセスの利便性向上等
合 計	1,140,266	

参考 広島空港の定期航空路線の概要（令和８年夏ダイヤの運航計画）

（１）国内線の現況

（令和８年３月３１日 現在）

地 域	路 線	航 空 会 社	便数／日	令和元年度 旅客数	令和７年度 旅客数	対令和元 年度比	備 考
北 海 道	札 幌 (新千歳)	全日本空輸	1	167,840 人	211,775 人	126.2%	H27.10.25～ (S61.3.1～)
		日本航空	1				H8.8.2～
東 北	仙 台	IBEX エアラインズ (全日本空輸)	3	76,585 人	122,610 人	160.1%	H21.9.1～ (H4.10.25～)
東 京	成 田	IBEX エアラインズ (全日本空輸)	運休	249,857 人	64,115 人	25.7%	H15.8.1～ R2.10.24～運休
		スプリング ジャパン	1				H26.8.1～
	東 京 (羽 田)	全日本空輸	8	2,035,207 人	1,939,114 人	95.3%	S37.10.14～
		日本航空	7				H2.7.21～ (S63.7.23～)
沖 縄	那 覇	全日本空輸	1	135,896 人	132,225 人	97.3%	S61.4.26～
<定期便計>	5路線	4社	日 22 便	2,665,385 人	2,469,839 人	92.7%	
チャーター便				4,140 人	4,468 人	107.9%	
<国 内 線 合 計>				2,669,525 人	2,474,307 人	92.7%	

（２）国際線の現況

（令和８年３月３１日 現在）

国・地域	路 線	航 空 会 社	便数／週	令和元年度 旅客数	令和７年度 旅客数	対令和元 年度比	備 考
韓 国	ソ ウ ル	チェジュ航空	14	36,563 人	205,413 人	561.8%	R5. 7. 13～
	清州	エアロ K 航空	4	—	33,599 人	皆増	R7.11.19～
中 国	大連・北京	中国国際航空 (全日本空輸)	2	33,827 人	9,831 人	29.1%	H10.2.26～
	上 海	中国東方航空 (日本航空)	7	57,773 人	50,070 人	86.7%	H8.2.6～ (H23.7.22～成都延伸) H30.3.25～成都延伸休止
台 湾	台 北	チャイナエアライン (日本航空)	5	84,778 人	72,708 人	85.8%	H16.6.2～
香 港	香 港	香港エクスプレス	4	42,264 人	60,261 人	142.6%	H27.10.27～
ベトナム	ハノイ	ベトジェットエア	4	—	46,027 人	皆増	R6.5.12～
シンガ ポール	シンガ ポール	シルクエアー (シンガポール航空)	運休	34,378 人	0 人	0.0%	H29.10.30～ R2. 3.27～運休
タ イ	バンコク	ノックエア	運休	5,160 人	0 人	0.0%	R 元.12.18～ R2.3.8～運休
<定期便計>	9路線	9社	週 40 便	294,743 人	477,909 人	162.1%	
チャーター便				9,940 人	2,314 人	23.3%	
<国 際 線 合 計>				304,683 人	480,223 人	157.6%	

2 広島ヘリポートの概要

(1) 広島ヘリポートの管理・運営

平成 22 年 10 月 30 日の定期路線の撤退により、小型機専用飛行場として運営していた広島西飛行場を平成 24 年 11 月 15 日付けで廃止、同日付けで広島ヘリポートとして供用開始し、ヘリコプター運航及び利用者の安全確保に必要なサービスを行っている。

なお、広島西飛行場の範囲でヘリポートを供用開始した後、段階的にヘリポート区域を縮小し、平成 27 年 4 月から最終形区域での供用を開始した。また、この最終形区域での供用開始に合わせて、指定管理者制度を導入し、「日本空港コンサルタンツ・大成有楽不動産連合体」が指定管理者として管理運営を行っている（令和 7 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで〔5 年間〕）。

また、広島ヘリポート管理事務所の老朽化が進んでいたため、旧広島西飛行場ターミナルビルを取得し、建物の改修及び管理事務所の移転を行い、令和元年 9 月から新管理事務所での業務を開始した。さらに、令和 3 年 4 月に旧管理事務所棟の解体工事と外構工事（柵設置等）が完了した。

広島ヘリポートの概要

設 置 管 理 者		広島県	
飛 行 場 の 種 類		陸上ヘリポート（公共用）	
供 用 開 始 日		平成 24 年 11 月 15 日	
施 設 概 要	管 理 面 積	108,280 m ²	
	基 本 施 設	着 陸 帯	長さ 35m, 幅 30m
		誘 導 路	長さ 28m, 幅 9 m
		エ プ ロ ン	20,574 m ² 、スポット 14
	航 空 灯 火	飛行場灯台、誘導路灯、風向灯、境界灯、境界誘導灯	
	通 信 施 設	対空通信施設一式	
運	気 象 観 測 施 設	風向風速観測装置等	
	用 時 間	10 時間 30 分（利用時間：8 時 30 分から 19 時 00 分まで）	

(2) 令和 8 年度の事業内容

（単位：千円）

区 分	予 算 額	事 業 内 容
広島ヘリポート管理費	141,785	ヘリポートの管理・運営等
広島ヘリポート整備事業	85,560	ヘリポート施設の整備等
広島ヘリポート維持修繕費	10,180	ヘリポート施設の維持管理等
計	237,525	